

袖垣治彦木版画展（第Ⅱ期）

11月21日（土）～1月31日（日）

～飛騨の獅子舞、民具を彫る～



獅子舞（神岡町森茂）制作年不明

～トークイベント～

森茂金蔵獅子と袖垣治彦

「…森茂の獅子舞はねえ、神岡の町の中で獅子舞大会ってやつがあって、そこであちこちの獅子を二日間かなあ、ずっと見とったの、森茂もあったの、やっぱり北飛、北飛騨の獅子は激しいな、先生になってから山之村の獅子舞を見て、祭りの日を調べて、わざわざ民宿に泊まって、休暇を取ってバスで、車なんか買う時代でないで…、ところがバスがなあ、神岡から栃洞上っていくの、曲がりくねった伊西峠という峠があるんやさな…」

森茂の獅子舞は雄と雌のユタンが違う、柄が違う、獅子の動きもある、金蔵の動きもあって…、だから祭りがあるってなると、わざわざ休暇取って、見に行ってくるんや、民宿泊まって、スケッチブック持って…」

（袖垣治彦氏より）

【期日】11月29日（日）

午後2時～3時

【場所】飛騨市美術館多目的室

【講師】清水 和彦氏

（神岡町森茂獅子保存会長）

※予約不要、参加費無料（別途入館料必要）

袖垣氏が師範学校時代から彫り続けてきた神岡町森茂（山之村）の金蔵獅子について、28年前の映像（動画）を見ながら清水氏よりお話を伺います。

問い合わせ先

飛騨市美術館

飛騨市古川町若宮2-1-58

0577-73-3288